事業所における自己評価表（公表）

公表日　令和2年3月10日

事業所名　放課後等デイサービス　がっこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6			基準のスペースを確保している。	
	②	職員配置数は適切であるか	5	1		基準に基づいて実施。	
	③	事業所の配置等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		必要な場所にはスロープ等の設置している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3		毎日の打ち合わせの中で随時、話してあっている。	
	⑤	保護者等向け評価法を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		年1回実施し、保護者の意向を確認し、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価法の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		ホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1	現在、第三者の外部評価は行っておりません。	今後、令和4年度を目標に、第三者の外部評価制度を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	5	1		職員研修計画に基づいたOJT。OFF-JTを実施しています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		保護者や本児の意見を聞きながら作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		当法人作成のアセスメントシートを使用。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		自立に向けたプログラムを職員全員で検討している。	
	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	4	2		毎日の打ち合わせの中で、職員がアイデアを出し合い、プログラムが固定化されないよう勧めています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1		季節活動・野外活動、体育館活動などを実施している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			集団と個別のプログラムを組み合わせて実施している。	
	⑮	支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			当日の留意点等をスタッフミーティングで確認。	
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		ケース記録等により要点をまとめ。必要に応じてケース会議の議案にしている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		ケース記録を通して、支援計画の評価検証を行い、改善点を加え新たな支援計画書を作成している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		少なくとも6ヵ月に1回行うように設定している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	1		組み合わせて支援しており、今後も改善しながら進めていく。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4	2		管理者・児童発達支援管理責任者が必ず参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等） 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		利用開始前に保護者を通して連絡調整を行い、開始後は担任等を意見交換を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	2	現在は該当者がいない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	保護者の了承を得て、情報共有と相互理解に努めている。	

㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4		現在は該当者がいない。	

	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		専門機関を通して得た支援内容等の情報を職員間で共有するよう努めている。	研修会などの参加を検討していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	1	1	4	コロナ禍の影響で今年度については自粛。	感染予防対策を考慮し、令和3年度は行事などを通して交流の機会を小規模のものから作れるように検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	1	郡山市放課後等デイサービス連絡会に参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者に伝えあい子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		毎回連絡帳でやりとりを図っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	1	プログラムとしては確立していないが、保護者との相談・助言の機会を多くし、また保護者向けの研修会等への参加を呼び掛けている。	今後、ペアレントトレーニングやペアレントプログラムなども検討します。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		見学や契約時に丁寧な説明をしている。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	4	2		来所・訪問・電話等を通じて相談を受けている。	
	㉜	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2	コロナ禍の影響で交流の場を検討したものの今年度は見送っていた。	コロナ収束の状況を見ながら、対応を検討していく。
	㉝	子供や保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		苦情受付担当者、苦情解決担当者を選任し、窓口を設けている。	
	㉞	定期的に会報を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		HPで活動の紹介などを行っています。	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	5	1		運営規程・重要事項説明書に定めるとおり。	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		連絡帳で伝えるよう努めている。	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	コロナ禍の影響で地域住民を招待する活動は自粛。	コロナ収束時後、実施する行事開催時には地域の学生やボランティアを以前のように募って参加してもらう。
非常時の対応等	㊳	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	5	1		契約時に説明している。	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		計画に沿って実施している。	
	㊵	虐待を防止するため職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		計画に沿って実施している。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもの保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	1	現在は該当者がいない。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	1	該当者がいないため、指示書の取り寄せは未実施。	対象者が利用になった場合ご家族と連携して対応して行きます。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		これまでの事例をファイリングで保管。職員会議で共有している。	改めて周知徹底していきます。